

北部病院だより 第113号(2017.11)

Showa University Northern Yokohama Hospital

【巻頭言】 薬剤師について

【TOPICS】 秋期公開講座について

【TOPICS】 ハロウィンイベントについて

【医師の配属・異動・退職、診療統計】

【栄養科だより】

【患者さんからのご意見・ご要望】

【お知らせ】 今後のイベントについて

【編集後記】

11月15日(水)は創立記念日のため、
【休診】となります。

学校法人 昭和大学は、
来年の2018年11月15日に、
【90周年】を迎えます。



昭和大学
横浜市北部病院

90th
SHOWA University
至誠一貫 Since 1928

巻頭言 ～薬剤師について～

薬局長の峯村純子です。皆さんは、薬剤師が院内で何を行っているかご存知でしょうか。そして、院内のどこに薬局があるかご存知でしょうか。薬局は地下2階にあるため、院内で薬剤師を見かけないという方もいらっしゃるかもしれません。

薬剤師の仕事は？という、お薬を作る人、調剤する人というイメージが強いと思います。私が就職したころの病院薬剤師は、薬局で調剤のみをしており、院内の多職種との交流がほとんどありませんでした。

しかし、現在では、ほとんどの外来処方箋が院外処方となるため、外来患者さんは保険調剤薬局でお薬をもらっているため、入院患者さんのお薬の管理を中心に業務しています。



〈薬局〉

峯村 純子 薬局長

そのため、私たち薬剤師は、調剤等を行う中央業務、病棟業務、外来業務、医薬品情報管理業務、手術室の薬品管理、学生教育などを行っています。中央業務では、市販されていない剤形（例えば坐薬、軟膏）を治療上必要な場合、医師の依頼により院内で調製しています。病棟業務では、ICU等の急性期病棟を含む全病棟と手術室に薬剤師を配置し、医師、看護師、その他医療スタッフなどの多職種と連携して入院患者さんへ薬物療法に関わっています。入院時に持参薬を確認し、患者さんとの面談で自宅での服薬状況、薬の効果、副作用、アレルギーの有無などの確認をします。必要に応じて医療スタッフと患者情報を共有し、内服薬、外用薬のみならず、注射薬についても薬剤の選択や投与量、投与方法などを検討したりします。抗がん剤治療に対しては、個々の患者ごとにレジメンの確認と投与当日の検査データ等の確認をし、必要に応じて医師への確認を実施し安全に治療が行われるようにしています（レジメンは、抗がん剤、輸液、制吐剤の投与量・期間・手順などを時系列で示した計画書のことです）。薬剤師は、安全キャビネットを用いて安全に抗がん剤の調製を行っています。

また、外来で抗がん剤治療を実施する患者さんに対しては、看護師と協力してお薬の内容や服用時の注意事項等を説明しています。また、薬局には医薬品情報管理室（DI室：Drug Information）があり、院内のみならず院外からの問い合わせに対する対応、製薬企業からの情報を収集して、DIニュース等で院内の皆さんへ情報提供等を行っています。

教育面では、薬学部の4年生、5年生の学生実習を実施しており、常に20名程の学生が薬局や病棟で実習をしており、皆さんも時々薬学部の学生に接することがあると思います。現在、薬局職員の約半数が薬学部病院薬剤学教室の教員ですので、臨床業務の他に学生教育を行っています。また、昭和大学には薬剤師レジデント制度があり、今年は10名のレジデントが勤務しており、調剤業務や病棟業務を行いながら研修をしています。

我々薬剤師は、患者さんが良質な医療が受けられるように、医療チームの一員として邁進してまいります。院内で薬剤師を見かけたら気軽に声をかけてください。



TOPICS ～秋期公開講座について～

10月14日（土）に秋期公開講座を実施しました。今回は「腰痛について」（講演者：大下 優介（整形外科・講師））と「喘息について」（講演者：松倉 聡（呼吸器センター・准教授））の2演題の講演を行いました。今回は耳の不自由な方でもお楽しみいただけるよう手話通訳や要約筆記、磁気ループを設置しました。

当日は117名とたくさんの方にお越しいただき、誠にありがとうございました。

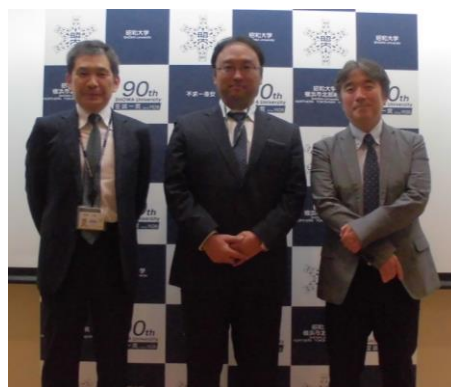
講演後にお答えいただいたアンケートには、「身近なテーマで参考になりました」「治療方法等について知らないことばかりで勉強になった」など好評の声や今後希望するテーマやご意見など様々な声をいただきました。

○来年度の春期公開講座について

平成30年6月2日（日）13時30分から当院西棟講堂にて『認知症について』という共通演題で2講演を行います。

芳賀 淳子（看護部・講師）と谷岡 大輔（脳神経外科・准教授）にご講演いただきます。

次回も手話通訳、要約筆記、磁気ループを用意する予定です。多くの方のご参加をお待ちしております。



（左から）

長塚教授（産婦人科・司会）、大下講師、松倉准教授

TOPICS ～ハロウィンイベントについて～

平成29年10月22日（日）、当院4B（小児科）病棟にてハロウィンイベントを開催いたしました。

富士吉田キャンパスにて収穫されたカボチャを使い、学生3名が子どもたちと交流しながら、ジャック・オー・ランタンを作成しました。非常に完成度の高く、素晴らしい作品が数多くありました。

子どもたち含め、学生も楽しんで作業に熱中しておりました。このほか、正面玄関回転扉・正面玄関の木々・MRI検査室にカボチャの飾り付けを行いました。



〈飾り付けしたカボチャと学生〉



〈正面玄関回転扉内飾り付け〉



〈MRI検査室の飾り付け〉



医師の配属・異動・退職

新規配属医師

2017 年 11 月

【附属施設より】

- ・ 太田 佐保子 (メンタルケアセンター) 烏山病院 精神神経科より (10 月 10 日付)
- ・ 瀬戸 詩織 (メンタルケアセンター) 烏山病院 精神神経科より (10 月 10 日付)

【他施設より】

- ・ 岡本 成亮 (消化器センター) 横浜旭中央総合病院より (11 月 1 日付)
- ・ 丹澤 盛 (呼吸器センター) 帝京大学医学部附属病院より (11 月 1 日付)

異動・退職医師

2017 年 11 月

【附属施設へ】

- ・ 小川 祐 (泌尿器科) ⇒ 江東豊洲病院 泌尿器科へ (11 月 1 日付)
- ・ 栗倉 秀幸 (耳鼻咽喉科) ⇒ 大学病院 頭頸部腫瘍センターへ (11 月 1 日付)

診療統計

前年同月比 ()内は 1 日平均

診療実日数 2016 年 9 月 (入院: 30 日・外来: 24 日)、2017 年 9 月 (入院: 30 日・外来: 24 日)

	入院患者数	外来患者数	救急搬送数	手術件数
2016 年 9 月	19,109 人(637.0 人)	27,700 人(1,154.2 人)	425 件(14.2 件)	717 件(35.9 件)
2017 年 9 月	18,021 人(600.7 人)	27,300 人(1,137.5 人)	468 件(15.6 件)	720 件(36.0 件)

栄養科だより～9 月行事食について～

【五目ごはん、鯖の照り焼き、秋の炊き寄せ、揚げなすおろし和え、清汁】

秋分の日行事食は、旬の食材を使用した献立にいたしました。

鯖は魚に春と書きますが、実は文字通り春に旬を迎えるのは関西地方。関東地方では秋から冬にかけて、脂がのっておいしくなる時期が旬とされています。

また、小鉢には南瓜やカブなど様々な野菜の炊き合わせをご用意しました。多くの方に秋の訪れを感じていただければと思い、柿の絵柄をあしらった軟らかく噛み切りやすいかまぼこを使用いたしました。「暑さ寒さも彼岸まで」と言われるように、過ごしやすい日が増えてきました。皆様の一日も早いご快復をお祈りしております。

〈栄養科 星川 麻美〉



患者さんからのご意見・ご要望

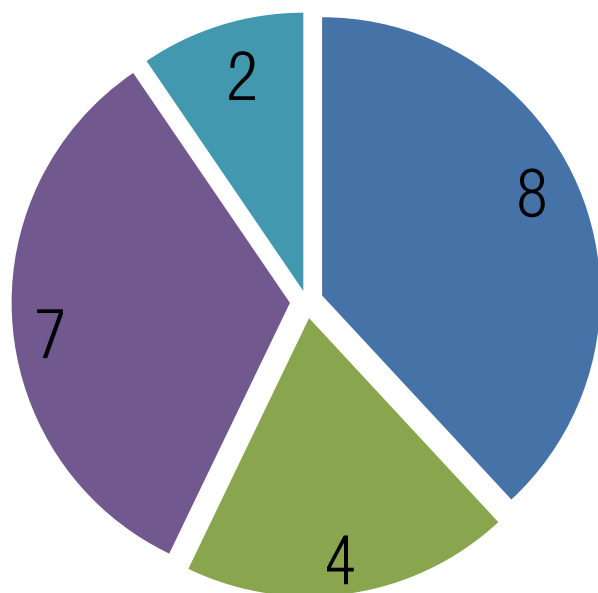
日々患者さんよりいただきましたご意見・ご要望に関しましては、院長及び関連する部署の責任者に報告し、改善に努めております。

今までのご意見の中で多くいただいたものや最近のご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させていただきます。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

今後もお気付きの点やご要望をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

ご意見・ご要望	回答・改善等
< 接遇・マナーについて > CT 室の対応が悪かった。 援助が欲しかった。 他 7 件	不快な思いをさせてしまい申し訳ございませんでした。 着替えや移動・ベッドへ乗り降りなどの配慮が不足していたと考えられます。今後、検査対応における教育の見直しに努めて参ります。 貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。
< 環境について > 入院生活の快適性向上のために無線 LAN の設置を希望いたします。 他 6 件	ご意見ありがとうございます。 無線 LAN の設置につきましては、セキュリティ上の問題や設置費用の関係上、すぐに対応できないのが当院の現状です。 患者さんの入院環境の快適性向上につきましても、医療サービス向上委員会にて今後検討させていただきます。 何卒ご理解とご協力をお願いいたします。

平成29年9月
ご意見・ご要望の総計
21件



- 接遇・マナー
- 運用・サービス
- 環境
- 感謝

お知らせ ～今後のイベントについて～

○第 23 回都筑区民まつり

平成 29 年 11 月 3 日（金）午前 10 時より、センター南駅前にて「超音波診断装置（エコー）の体験・展示」と「がん対策の取組紹介」を出展いたします。

体験・展示コーナーでは、エコーがどのように使われているのかを体験することができ、がん対策コーナーでは、乳がんの腫瘍触知体験やがん相談支援センター・がん患者サロン・緩和ケア病棟の紹介をいたします。

皆さまのより多くのご参加を心よりお待ちしております。



〈昨年度のがん相談コーナー様子〉



〈昨年度の乳がん検診啓発コーナーの様子〉

（左から）

福成副院長、西川講師、佐々木師長



★編集後記★

秋も一段と深まり、日だまりの恋しい季節となりました。皆様お変わりなくお過ごしですか。早いもので、あと 2 ヶ月で 2017 年も終わりです。子供の頃はゆっくり時間が流れていたのに、大人になると時間の流れが速く感じると思ったことはありませんか。時間感覚は一定ではなく、脳が処理する情報量によるそうです。情報が多ければ多いほど、それを理解するのにより多くの時間が必要です。そのため、新しい発見にたくさん出会う若い時代は、時間の経過が遅く感じられたのです。

「学び続ける」、「新しい場所を訪ねる」、「新しいことを始めてみる」、このようなことを意識して普段の生活を送ることで、ほんの少し豊かで長い時間を過ごしてみるのはいかがでしょうか。

〈放射線部 齋藤 徹〉



北部病院だより 第 113 号

平成 29 年 11 月 1 日発行

発行責任者 門倉 光隆（昭和大学横浜市北部病院長）

編集責任者 緒方 浩顕（広報委員会 委員長）

発行 地域中核病院 昭和大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話 045-949-7000(代表)

URL : <http://www.showa-u.ac.jp/SUHY/index.html>

北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』
がご覧いただけます。